

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2022年12月号(第96号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市臼井田 774-83

mail:isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

マリアは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方がご自分の民をその罪からお救いになるのです。

【マタイの福音書 1章 21節】

今年も早いものでクリスマスの時期を迎えました。今号は「イエス」という名前の由来について書きたいと思います。私たちは誰もが名前を持っています。その名前には何らかの意味や思いが込められています。私が小学生の頃に子どもに「悪魔」という名前を付けた親がいて、そのことがテレビで話題になりました。どのような思いをもってその名をつけたのか知りませんが、子どもながらに衝撃を受けたニュースなので、「悪魔ちゃん騒動」として今でも記憶に残っています。

「イエス」という名前ですが、これは親にあたる父ヨセフと母マリアによって付けられた名前ではありません。御使いがマリアとヨセフそれぞれに現れてイエスと名づけるように命じました。このイエスという名前はヘブル語では「ヨシュア」です。旧約聖書にヨシュアという人が登場することからも特段めずらしい名前ではありません。こ

のイエス(ヨシュア)には「主は救う」という意味があります。ちなみに「イエス・キリスト」という呼ばれ方がされますが、イエスは名前ですが、キリストは名前ではなく称号です。キリストとメシアは同義ですが、その意味は「油注がれた者」です。聖書の時代、それは「救い主」を意味しました。人々がイエスを救い主と信じた時、彼の名前にこの称号を付けて「キリスト・イエス」あるいは「イエス・キリスト」と呼びました。要するに、「イエス・キリスト」と呼ぶときは「イエスは救い主」と言っていることになります。

それはそれとして、話題を戻してイエスという名前について考えますが、「主は救う」という意味の名前が付けられたことは、イエスがなした働きを考えるとふさわしいことであったと言えます。御使いは「その名をイエスとつけなさい」と言った後に「この方がご自分の民をその罪からお救いにな

